

# 議会だより



河合地区(元田会場)



宮川地区(大無雁会場)



古川地区(袈裟丸会場)



神岡地区(麻生野会場)

## 市民との意見交換会(7/20~8/18)

9月定例会の概要	2~ 5
一般質問(12人)	6~11
市民との意見交換会	12
編集後記	12

# 定例会情報

令和4年 第4回定例会(9月6日～9月30日)

本定例会は、令和3年度決算を審査する大切な会議で9月6日から30日までの25日間の会期で開催しました。決算の審査は、決算特別委員会を設置し事業実績や課題とその対応策について議論を深めました。なお、上程された、報告・人事・条例改正・予算・決算等の35議案については、すべて原案のとおり適任、可決、認定としました。

## ● 住宅に関すること

- 議案第95号 飛騨市空家等の適正管理及び措置等に関する条例について  
空家等の適正管理に関する事項等を定めることにより地域の安全な生活環境の保全を図るための制定

### ◇ 委員会審査での主なもの

Q 現在、特定空家に認定されている物件は全て所有者は分かっているのか

A 全ての特定空家の所有者は分かっている

- 議案第103号 飛騨市市営住宅条例等の一部を改正する条例について  
里子を同居親族として取り扱うための改正

## ● 税金に関すること

- 議案第97号 飛騨市税条例等の一部を改正する条例について  
住宅借入金等特別控除の適用期限の延長等、市民税の負担軽減措置等の調整を図るため、地方税法等の一部を改正する法律により地方税法が改正されたことに伴い、当該条例における個人市民税及び固定資産税に関する規定についての改正

### ◇ 委員会審査での主なもの

Q 住宅ローン控除の件で延長になることは市民にとって有利になると思う。市民税が7%から5%に下がるとのことだが、当事者にとっては総合的に有利になるのか

A 住宅ローン控除については、所得税で控除仕切れなかった額が住民税で控除できるものであって、所得税が無い人は住民税から控除できる

## ● 裁判に関すること

- 議案第98号 裁判上の和解について  
令和元年12月13日に岐阜地方裁判所に対し訴訟提起した損害賠償請求事件について、同裁判所から示された和解勧告に基づき和解するため

## ● 農林水産業に関すること

- 議案第99号 字地域の変更について(宮川町大無雁・落合V地区)  
地籍調査の結果、地方自治法第260条第1項の規定により字の地域を変更するもの

### ◇ 委員会審査での主なもの

Q 地籍調査はいつまでかかるのか

A これまで通りの方法だと200年かかる

- 議案第100号 飛騨市林業・木工技術者等修学資金貸与条例の一部を改正する条例について  
修学資金貸与条件の拡充に伴う改正

### ◇ 委員会審査での主なもの

Q 各年の貸付対象者は1名であるのに、貸与金額が違う理由は

A 学科によって授業料等が違うことによる

- 議案第101号 飛騨市肉用繁殖雌牛導入基金条例及び飛騨市乳用牛導入基金条例の一部を改正する条例について  
被貸与者の賠償責任及び損害賠償の免除要件を条例に制定するための改正

◇ 委員会審査での主なもの

Q 市長特認の例は

- A 獣医師の診療もなく突然牛が亡くなった場合などを想定している
- 議案第102号 飛騨市地域産業振興施設条例の一部を改正する条例について  
朝開町農産物直売施設の廃止に伴う改正

◇ 委員会審査での主なもの

Q 普通財産に移行した後、荒れ放題にならないか

- A 土地建物をしっかりと管理するよう管財課に引き継ぐ

● 人事案件に関すること

- 議案第93・94号 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて  
泉 初枝（宮川町）  
小林 恵子（河合町）  
【任命期間】 令和4年7月1日から令和7年6月30日までの3年間

● 職員の給与等に関すること

- 議案第96号 飛騨市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について  
地方公務員の育児休業等に関する法律の改正に伴う改正

● 予算に関すること

令和4年度補正予算

- 議案第104号 令和4年度飛騨市一般会計補正予算（補正第3号）  
15億7,847万7千円を増額、補正後の予算額は、208億7,852万3千円
- 議案第105号 令和4年度飛騨市国民健康保険特別会計補正予算（補正第1号）  
事業勘定の8,280万円を増額、補正後の予算額は、27億7,968万円、直営診療施設勘定の112万8千円を増額、2億292万8千円
- 議案第106号 令和4年度飛騨市介護保険特別会計補正予算（補正第1号）  
9,685万8千円を増額、補正後の予算額は、34億3,785万8千円
- 議案第107号 令和4年度飛騨市公共下水道事業特別会計補正予算（補正第1号）  
5,655万3千円を減額、補正後の予算額は、12億1,144万7千円
- 議案第108号 令和4年度飛騨市特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算（補正第1号）  
124万4千円を増額、補正後の予算額は、1億8,424万4千円
- 議案第109号 令和4年度飛騨市農村下水道事業特別会計補正予算（補正第1号）  
726万円を増額、補正後の予算額は、3億4,426万円
- 議案第110号 令和4年度飛騨市下水道汚泥処理事業特別会計補正予算（補正第1号）  
922万8千円を増額、補正後の予算額は、1億8,622万8千円
- 議案第111号 令和4年度飛騨市情報施設特別会計補正予算（補正第1号）  
800万円を増額、補正後の予算額は、2億8,500万円
- 議案第112号 令和4年度飛騨市水道事業会計補正予算（補正第1号）  
804万円を増額、補正後の予算額は、5億5,052万6千円

◇ 委員会審査での主なもの

総務部

- Q 太陽光発電を5カ所設置となっているが、初期費用とメンテナンス費用をかけないPPA方式なのか
- A PPA方式は難しいため、それ以外の方法を考えている

企画部

- Q 域学連携事業補助金を交付するにあたって、地域テーマでどのような議論がされたのか
- A 大正大学については地域資源の掘り起こし、静岡大学については関係人口をテーマにしている



## 定例会の概要

### 市民福祉部

Q 住民票等コンビニ交付の導入について、導入予定件数は

A 現時点で全国5万6,000の店舗で使用できる。市内では5店舗である

### 環境水道部

Q 光熱水費はこれから先3月までを考えての試算か

A 市有施設全体を一律に計上する必要があることから、当初予算に対して約5割増しで計上している

### 商工観光部

Q ロケツーリズムの推進事業について、具体的な助成金はいくらなのか

A 今年度の寄付額が現在1,295万円で予算計上している

### 基盤整備部

Q 除雪の転落防止について、今年の冬の一般市民向けの対策等はするのか

A 検証をして効果があるという結論に至れば、令和6年度の本格実施に向けて進めていきたい

### 消防本部

Q 訴訟委託料254万8,000円となっているが、これは弁護士の訴訟費用に係った報酬料という考えでよいか

A 訴訟費用に関しては令和元年の訴訟時に着手金として一部支払っているが、今回の額は成功報酬である

## ● 認定に関すること

### 令和3年度歳入歳出決算

- 認定第1号 令和3年度飛騨市一般会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第2号 令和3年度飛騨市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第3号 令和3年度飛騨市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第4号 令和3年度飛騨市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第5号 令和3年度飛騨市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第6号 令和3年度飛騨市特定環境保全公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第7号 令和3年度飛騨市農村下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第8号 令和3年度飛騨市個別排水処理施設事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第9号 令和3年度飛騨市下水道污泥処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第10号 令和3年度飛騨市駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第11号 令和3年度飛騨市情報施設特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第12号 令和3年度飛騨市給食費特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第13号 令和3年度飛騨市水道事業会計未処分利益剰余金の処分及び決算の認定について
- 認定第14号 令和3年度飛騨市国民健康保険病院事業会計決算の認定について

### ◇ 委員会審査での主なもの

### 総務部

Q 防災備蓄品の賞味期限や消費期限のある食料品の更新計画はどう考えているか

A 食料品等は5年で期限がくる、現在2万4,000食が2年後に期限が来るので半分ずつ更新する

### 環境水道部

Q プラゴミ収集で回収できないものはどのくらいあるのか

A 一日あたり青いコンテナ内に1~2個ある。回収できない袋も月に20数個ある

### 神岡振興事務所

Q レールマウンテンバイクの補助事業についての調査とは

A 点検事業策定の方向性を計画するための補助制度がないか含めて調査

河合振興事務所

Q 止利仏師の展示は今後常設するのか

A 宮道具等の借り物は返すが、市で管理の持ち物は河合小等で展示をしていきたい

宮川振興事務所

Q 池ヶ原湿原トイレの今後の予定は

A 常設・循環式含め今より良い環境で使えるものを検討する

基盤整備部

Q 農地に排雪された堆雪について苦情はないのか。業者も苦勞しているので地権者に協力金を出せないのか

A 苦情はあるが、協力金を出せない。各自治会の区長を通して地権者にお願いしている

農 林 部

Q 米価の下落で農家は大丈夫か

A 飯米から飼料米（WCS）に移行して、米価を安定させる。機械化（スマート農業）で単価を下げる

市民福祉部

Q 多重債務に対する相談支援の実績はどうか

A 支援を入れないと将来がみえてこなかった。支援で立ち直れたと思う

商工観光部

Q 観光協会の在り方をどう考えているのか

A 協会各支部からいただいているいろいろな意見やまちづくりの観点を踏まえて検討している

教育委員会事務局

Q スクールバスで子供の置き去り事件が起きているが、市ではスクールバスの運転手が最後確認するというようなルールはあるのか

A 運行会社に委託しているので、バス会社に帰ってからバスの清掃等も行い車内を確認していると聞いている

● 給食費特別会計について

Q 飛騨地域には委託する民間業者はいくつかあるのか

A 職員は地元の人がほとんどで、業者はプロポーザル方式の企画提案型で全国より募集があると思う

病院事務局

Q 市民病院は市の考えが反映される病院として、今後も維持運営されるということでのいいのか

A 市にとって不可欠な病院であって絶対無くさないというのが大前提で、今後もしっかり運営していきたい

● 報告に関すること

● 報告第4号 株式会社飛騨ゆいの経営状況報告について

市が2分の1以上出資している団体の経営状況の報告

Q ふれあい広場の新たな委託とは何か

A 市外のグラウンド整備の業務を請け負っている

## 12月定例会 日程予定

11月29日(火) 本会議(開会日)

12月12日(月) 常任委員会(付託案件審査)

12月 7日(水) 一般質問(1日目)

13日(火) 予算特別委員会

8日(木) 一般質問(2日目)

14日(水) 本会議(閉会日)

※ 日程は議会運営委員会で協議し、変更となる場合があります



水上 雅廣 議員

広葉樹のまちづくりについて

①小規模森林整備の促進②広葉樹のまちづくり推進に向けたビジョン

**答 弁** ①自伐林家を含む小規模林業事業体の育成は重要と考えるが、まず他地域の事例など調査研究することから始める。②公民連携のもと、他地域との連携を深め、相互の強みを生かし弱みを補い合える関係性を構築し、国産材広葉樹市場に柔軟に対応できる体制づくりを目指す。

市有財産の整理について

①市有財産の利活用と整理②香愛ローズガーデンの有効活用③西忍スポーツ公園等の再整備

**答 弁** ①すべての施設を(1)維持管理継続307施設(2)再改編検討対象施設10施設、(3)民間等譲渡検討施設5施設(4)普通財産へ移行検討施設9施設に整理した。今後具体的な検討を進める。②地域住

民による有効活用を前提に、様々な取り組みを重ねながら、施設の在り方を関係機関と協議する。③ナチュラルみやがわは、グランピング施設等の誘致や、障がいのある方にも優しいアウトドア体験機会の創出など、更に特色を出す方向で検討。宮川スポーツ公園は、スケートボードパーク、サイクリングロードのウォーキングコース利用など実証実験を検討する。

基礎的条件の厳しい集落への支援について

**答 弁** 市職員と連携して、集落の巡回や状況把握を実施したり、地域活動の中心になれる、「集落支援員」の配置について具体的に検討する。

海洋ごみ対策について

海洋ごみ対策として河川環境美化活動の推進を  
**答 弁** 市として海洋ごみへの意識や環境全般への意識の醸成を図る取り組みを進めるために、宮川下流漁協の河川美化活動と連携する。当該区域を重点モデル区域とする事業を県へ提案。  
YouTube ▶



井端 浩二 議員

飛騨市防災士会について

①事務局をどのようにしていくのか。消防署や消防団、関係団体と連携が必要になるがどのようにしていくのか。②関係団体や教員、介護職員等との研修会や女性部会の設立はできないか。③各地区に一人くらいの防災士が必要ではないか。④運営資金が必要になるがどうしていくのか。⑤各地区等での避難所の設営運営や防災計画が必要になるが市の考えは。⑥防災士を地区の防災相談員として役員にしてもらえないか。

**答 弁** ①防災士会は市役所をはじめとする関係団体との緊密な連携が不可欠であり、今年度より防災士会事務局を危機管理課から防災士会に移管した。危機管理課と緊密な連携をとっている。②

教職員や介護施設職員、関係団体との連携を進めつつ、現在、防災普及部、防災企画部の設立を検討されている。同時に女性部会や中学高校生による青年部会といった意見も出ており支援していく。③防災士の活動は自治会や行政区等の自主防災組織における活動が主体となり、2～3人の防災士が活動できる態勢が理想と考えている。④防災士の育成促進や自主防災活動、防災士会活動などに必要な予算の確保していきたい。⑤平成30年に行政区等の地区防災計画の作成を依頼するとともに、飛騨市避難所運営マニュアルを作成し各行政区等へ配布と市公式HPへの掲載を行った。今後も区長会等を通じて、防災計画の見直しをしていきたい。⑥自治会、行政区等の役員あるいは相談員として防災士が参画し、活動することは極めて理想的であり支援していきたい。



YouTube ▶





◀ 会議録はこちらから

## 一般質問



小笠原 美保子 議員

### 農業振興について

高齢化や離農が進む中、歯止めをかけるための取り組みは。①肥料価格高騰支援について。②農業支援のモデル地区の成果と今後の取り組みについて。③家庭菜園の推進について④今後の農業の方向性について。

**答 弁** ①国の「肥料コスト増加額」の算定式を使用し二分の一以内を支援する。販売農家という要件は設けていない。②サルの被害は地域ぐるみの追い払い等により集落にサルが近寄らなくなった。今後同様に被害の多い地域に情報提供していく。将来的な農地利用に関しては市内集落の農地利用計画策定に向け検討を進める。③市では法改正を踏まえながら農地利用の検討を進める。④新規就農者支援や中高年就農支援、区画拡大による農地の集積・集約に伴う農業経営の効率化、スマ

ート農業の推進・鳥獣害対策による農業者の負担軽減を図る等、今後も様々な施策を推進していく。

### デジタル教科書について

①タブレット活用の現状および効果について②児童生徒の健康への影響について③いじめの助長や依存について

**答 弁** ①市内すべての児童生徒が自分専用の端末を使用できるよう整えられた。「個別最適な学び」の実現で可能性を広げていく。②授業等で連続使用に留意したりタブレットから目を離す時間を作ったり等配慮している。健康面への配慮事項について最新情報を学校と家庭で共有していく。③ネット社会のルールやマナー、責任、危険を回避する行動や相手の立場に立って考えることの大切さ等学んでいる。中学校では生徒会が中心になりタブレットの活用を考える取り組みを行っている学校もある。

YouTube ▶



徳島 純次 議員

### 内部統制制度について

①昨年6月1日での制度の評価は、概ね妥当である。としているが、運用2年経過の評価と今後の課題は。②リスク顕在化した時は、他部局で同様なミスが発生しないよう情報共有と注意喚起をどのように周知するのか、確実にリスク顕在化の未然防止に利活用されているのか。③業務システムの自動化の適用範囲と今後の取り組みはどの様に考えているか。④内部統制の評価の公表の方針は。

**答 弁** ①令和2年8月に導入・運用を開始し、約2年が経過したところです。現在のところ、制度運用上の問題点は特にないと捉えている。本市の内部統制は法に基づくものでなく、市独自の仕組みと位置付けている。今後継続していく中で見直しを重ね、磨き上げ、本市の規模や組織に適したより良い仕組みを確立していく必要がある。②リスク事案の概要、原因、対応、再発防止策を市

長に報告すると共に部長会議に於いて報告し情報共有、部長より所属職員、庁内イントラネットにより全職員に周知する。③業務のRPAへの転換やシステム化、効率化及び職員の負担軽減からも業務の外部委託についても積極的に進めていく。④当面は令和2年度同様のスケジュール感で公表していく。

### 働き方改革の実現に向けた取り組みについて

①中間点の取り組みの評価と今後の課題は。②何人の職員がテレワーク業務を行っているか、それによる効果と今後の課題は何かあるか。

**答 弁** ①議会等のペーパーレス化、業務へのAI-OCRの導入、会議録作成システムの導入により作業時間の短縮、職員の負荷軽減の一定の効果を上げている。職員の更なるICTの知識技能習得のための長期的な取り組みが必要で、全庁的に情報リテラシーの底上げが課題である②テレワークの8月利用者は160人。テレワークは勤怠管理が難しく、基幹系システムへの利用が出来ない課題がある。 YouTube ▶





前川 文博 議員

令和5年新年度予算について

都竹市政2期8年目、最終年の予算編成。①アフターコロナ。飛騨市の元気を取り戻すためにどのような考えで予算編成を行うのか。②河合のYuMeハウスは指定管理者が撤退する。全ての公共施設の在り方、方向性の考えは。③火災跡地の活用と医師住宅及び看護師住宅は。

**答 弁** ①予算のテーマは「持続可能な飛騨市づくり」。ゼロカーボンシティへの挑戦。国際平和への貢献。未活用の市有施設等の取り壊し、売却を進める。②地域の事情に配慮がある。すぐに休止や廃止でなく、普通財産にして貸付をしたり、売却先を探すこともある。③病院から近い火災跡地は有力な候補地。研修医住宅のように一定年数借り上げる方式が有力候補。現状は資材の高騰、品

薄などがありすぐに整備できない。喫緊の課題であり早期に結論を出したい。

小中学校の特別教室エアコン設置について

①これまで「費用の問題や室温の調査、普通教室の利用で設置は考えていない」との答弁が続いたが、方向性が変わった理由は。②山之村小中学校でも熱中症に近い症状になった児童生徒があり、急遽スポットクーラーが導入されたが、エアコン設置の考えは。

**答 弁** ①中学校の学校運営協議会から初めてエアコン設置の要望。さらに要望者として生徒会長の名前も。生徒から切実な声があったのは初めて。総合政策審議会でも複数の意見があり、特別教室のエアコン設置を決めた。②1階のランチルームと、2階のラーニングルームへの設置を考えている。

YouTube ▶



葛谷 寛徳 議員

飛騨ソーシャルビジネス創出の支援制度の内容と現状は

飛騨市の地域課題解決に取り組む事業種に対しふるさと納税の枠組みを活用して、支援を行う制度を新設。事業を実施する皆さん自らが寄付を集め、集めた寄付をその活動に対する交付金として交付するのですが、(株)ネコリパブリックと(株)Edoが事業認定された。市民が誤解されている部分もあるので、改めて制度や内容について伺う。

**答 弁** 飛騨市の社会課題解決に役立つビジネスをエントリーして審査をしてもらう。年間5,000万円の交付を受けようとする、1億円の寄付を集めなければならない。(株)ネコリパブリックは苦勞されていて、予想外の1億6,180万円を集められた。寄付が集まらなかったらリスクは自分が負う。現在60匹を超える猫の保護や預かりをしており、施設がいっぱいになりつつある。保護猫

シェルターは、近所の子どもたちも猫に会いに来てくれるなど、見学もできコミュニティの場にもなっている。

船津火災跡地の活用について

看護部長から里山ナース事業での、看護師教育と人材確保対策の取り組みについて、大きな成果を上げていると報告。魅力ある生活をしてもらうためにも、看護師住宅の整備が必要だが、火災跡地をどのように活用されるか伺う。

**答 弁** 看護師住宅は、屋根材の劣化など老朽化が進んでおり、PFI方式を含め火災跡地は有力な候補地である。従来職種別住宅の区分をなくし利用率を高める必要がある。建築資材も高騰しており、今後着手時期を検討していく。火災跡地に残る家屋の撤去については、今後の利活用事業の中で一体的に実施したいが、時間がかかる場合は、先行して撤去を検討したい。

YouTube ▶







◀ 会議録はこちらから

一般質問



谷口 敬信 議員

### 環境整備について

①農業集落地域の市道の除草について。②市街地近郊の市道の除草について。③一級河川宮川の堤防除草について。④環境省指定特定外来生物の駆除について

**答 弁** ①市道は550kmにおよび、地元からは高所で危険が伴う箇所など地元区での対応が困難な場所の除草・伐採等の要望がある。市で対応が必要となる箇所については柔軟に対応する。②古川大橋街路樹撤去工事は変更契約工期を11月25日(当初8月26日)までとし、早期完成に努める③堤防除草の回数(1回⇒2回)については管理者の岐阜県古川土木事務所に対して検討及び協議する。④当面、県立自然公園(天生・奥飛騨数河流葉)へ接続する道路沿線を重点地域として、限られた

財源の中で、業務委託(シルバー人材センター)により、防除を効果的に進める方針である。

### デジタル田園都市国家構想推進交付金の活用について

①ビックプライド(市民の誇り)の醸成について。

**答 弁** ①市民1人1人が自分のまちに誇りを持って暮らせる環境を醸成することが非常に重要な取り組みあると考えて市政を進めている。来年度に向けた自治体DXの考え方についてもご提案をいただいた、住民との合意形成・Steam教育・移住定住も踏まえながらデジタル化の推進を取り組んでいきたい。現在、自治体DXに詳しい企業の方等から様々な可能性について話を伺って勉強している。職員を近々先進地に派遣して勉強してもらうように指示をしているところで、できるところから順番に取り組んでいきたい。

YouTube ▶



住田 清美 議員

### 教育の環境整備について

①不登校児童生徒の学ぶ機会の提供②支援の必要な子どもたちへの指導③小中学校特別教室のエアコン整備

**答 弁** ①年間30日以上欠席者数は、昨年小中で37名。今年度7月では昨年同期と同数である。教育相談室「グリーンルーム」を古川・神岡に開設し、本人の意思を大切に過ごし方を決めている。学校では教育相談員3名、スタデイサポーターを4名配置し、学びの機会の確保に努めている。②特別支援学級は小中で13学級、48名が在籍している。また、普通学級在籍児でも週1回程度トレーニングを行う通級指導教室もある。学校心理士の助言を踏まえ指導に役立てている。③令和5年夏までに各学校の特別教室2教室分を整備し、

令和7年度までに整備完了としたい。

### リサイクル意識の向上について

①ごみ出し支援アプリの活用②処理施設の見学③ごみ袋記名④第3次環境基本計画の進捗

**答 弁** ①まずは区長会でダウンロードをお願いし、HPや回覧にてQRコードを表示するなど啓発に努めたい。②小学4年生には環境教育として衛生関連施設の見学を行っているが継続したい。一般の方については、エコサポーターや保健衛生推進員をはじめ、市内や県外のリサイクル関連施設の視察を検討したい。③プラ袋、紙袋への記名は合併前から行っている。現状でも不適切な排出は一定量あり、当面、記名をお願いしたい。④第2次計画の振り返りから見えてきた課題と、現在の社会情勢を踏まえたものを基本方針とし、環境審議会にはかるなどし、年度末には公表したい。

YouTube ▶





上ヶ吹 豊孝 議員

山之村地区の観光利活用について

山之村地域資源を活かすため景観の保全を行い、「景観村づくり」を進め、観光に資する事業がもっと発展出来ないか。①深洞湿原の利活用について②天蓋山登山ルート開拓について③冬の山之村観光事業について④山之村新規事業について⑤山之村牧場のキャンプ場新設

**答 弁** ①コロナ禍でアウトドア需要が高まる中、天蓋山、キャンプ場、山之村牧場、そして深洞湿原などポテンシャルが高い地域だが、まずは資源の現状と今後の活用策を検討する。②山之村牧場を登山口とした、「新登山道の整備」について現在、「山之村キャンプ場」及び「山之村牧場」と一体的な利用促進を目的に検討を進めている。③冬場の需要獲得に向け、オールシーズンの魅力と合わせ情報発信する。④「子ども農山村漁村プロジェクト」の活用は、最終

的に地域ビジネスとして定着することが重要である。⑤牧場内でのキャンプ場新設は、牧場経営者や利用者のニーズを踏まえ検討する。

学校教員の勤務状態と課題

教員の勤務状況が苛酷になっている。原因として、デジタル化による新業務が背景ではないか。①ICT導入により教員の負担状況は②市内教職員の時間外労働は③部活の地域移行について

**答 弁** ①教職員のICT研修を定期的実施しスキルアップに努めている。ICT支援員を2名増員し3名体制でサポートしている。②管理職が時間外業務の内容を確認し、特に時間が多い教職員は、業務改善に向け、関係職員との連携を図り、翌月の勤務に生かしている。③部活地域移行の最も重要な目的は、将来にわたり子供たちがスポーツや芸術・文化に継続して親しむ機会を確保する事。令和8年度を目途に学校部活から地域活動へ完全移行する。

YouTube ▶



高原 邦子 議員

魅力あるまちづくりは課題解決型まちづくり、コレクティブインパクトで

過疎地域対策措置法の目的条項の変遷では50年前と地域振興の目的が、社会資本の整備から地域課題解決へと変化している。市民と語る中で、空き家の利活用・景観整備・子どもや高齢者の移動手段の確保・外部人材の移住支援など、より住民に密着したまちづくりを進めることを望んでいる。住み続けていくには「課題解決型のまちづくり」が必要であり、ごく一部の人が取り組みすればよいものではなく、あらゆる分野の人々が課題解決に向けて心も行動も一つにしていく事が真の解決であると思った。

①市長のまちづくりの方法・手法はどのようなものなのか。②コレクティブインパクトやシステ

ム思考を活用した課題解決型まちづくりをどのように考えるか。

**答 弁** ①②複数の異なるセクターがある社会課題を解決するために協働してインパクトを創出するコレクティブインパクトを得心している。飛騨市は人口減少先進地であり、課題先進地でもあり、毎日よくぞこれだけというほど課題があり、どうやって解決するかが市政そのものである。最近では市政運営の中で行政だけで解決するには限界があり、市内の企業・団体・関係人口の方々と協働・連携することが重要であり、その中で政策の効果(インパクト)を最大化していくという意味ではこれぞコレクティブインパクトだと思っている。それぞれのプレイヤー(複数の異なるセクター)の強みを発見し、持ち寄り、組み合わせる相互に補完する関係を作る「強みの持ち寄り体制」を作るのを大事にし、具体例では飛騨市学園構想・ヒダスケ・広葉樹のまちづくり。それらを俯瞰的に見て調整する役割を市が入って行っている。 YouTube ▶





◀ 会議録はこちらから

一般質問



籠山 恵美子 議員

「国葬」について、市に原則的な対応を求める

安倍元首相の「国葬」は、憲法14条「法の下での平等」、19条「思想及び内心の自由」に違反する。市長、教育長には弔意行為は憲法の原則に沿った対応を求める。

**答 弁** 国葬儀の実施は政府が決定すること。よって政府からの正式な通知がない以上、市の対応を申し上げる状況にない。

デジタル田園都市国家構想をどう活用するか

デジタルインフラの整備に対し、①市が抱える当面の社会課題は何か。②防災のためのドローン活用が最も急がれるのでは。

**答 弁** ①人口減少による人手不足が一番の課題。問題解決のため、地に足のついたデジタル構想を進める。②ドローン活用の災害協定を締結し出動実績をあげている。防災態勢の一層の強化を図っ

ていく。

早急に国道360号線の交通安全対策を

宮川町種倉打保バイパスの成手～塩屋間が開通した。地元住民の利便性が向上する反面、高速走行の車両も増加し、生活環境の安全面が脅かされている。市は関係機関と連携し、早急に事故防止対策を。

**答 弁** 今回の開通を迎えるにあたり、地元区などから県に対し安全の要望が出されている。今後はさらに交通量増加が想定されるので、ご意見をしっかり受け止め地元と一体となって県へ要望していく。

ペット火葬場の整備を求める

飛騨市民がペットの火葬をお願いしている高山市が、新火葬場の土地物件で難航している。飛騨市は独自に火葬炉を整備すべきである。

**答 弁** 光明苑の建て替え時に議論になったが、整備に至らなかった。民間が火葬事業を計画しているので推移を見守りたい。

YouTube ▶



野村 勝憲 議員

ふるさと納税での猫の店開店

民間の開店に都竹市長と澤議長がテープカットは前代未聞。議員と市民の意見交換会4会場と一般市民から、猫に公金5,000万円とは！これも市長の専決か！議会は何をしている！等怒りの声①東京の会社にふるさと納税を使う理由は②猫の店にふるさと納税2.5億円の使い道は③飛騨市での猫事業の見通しは④犬にもふるさと納税で支援をしたら！

**答 弁** ①条例に従い(株)ネコリパブリックに交付②猫の店開業の家屋取得・改修費と5年間の運営費に③飛騨市の猫の店は8店目で資本金は600万円。市は今後も支援④支援事業の対象となる。

飛騨市の南・西玄関口の活性化について

①南玄関口に1.3億円で飛騨市直産市そやなが開店。売り場面積は狭く、地元野菜等が約3割。まるで全国のおみやげ店の声と年間440万円市

支給のトマト店長の処遇は②道の駅アルプ飛騨古川の土地は市、そやなの拡張等もっと議論を③西玄関口の朝開町旧地場産市場跡地にふるさと飛騨館を建設し、1階は観光協会と物販店、2階に4町の魅力発信コーナーを設け観光誘客を図る。

**答 弁** ①多くの野菜が並べられる陳列棚を二段にする等柔軟に対応。市から店長への支給は令和6年6月まで。以後は指定管理者で②市は方針は決めない③民間活力を活用し、早い時期に跡地利用を検討。

4町に新たな健康ウォーキングコースを！

健康・歴史探訪をキーワードに、北飛騨の森と町並みを楽しむ新しいコースを提案①神岡山之村にペットと歩くコース②古川祭り会館から堀田森の大イチョウを経て道の駅までの町中コース③河合小鷹利城コース④宮川種蔵コース新設を。

**答 弁** 山之村はペットと歩くも含めイベント型ウォーキング事業を継続し、提案の古川・河合・宮川コースは3町の特徴を活かしたクアオルト独自コースとして健康ウォーキングガイド協会と検討。 YouTube ▶





## 市民と議会との意見交換会

7月20日から8月18日まで市内18会場で142名のご参加をいただき意見交換会を開催しました。各会場での意見は各委員で整理を行い、市への要望等に反映させていただきます。ご意見ご要望の一部をご紹介します。皆様のご参加ありがとうございました。

### 宮川町 7月20・21日 4会場

- 災害時の情報取得用にラジオが聞けるようにして欲しい。
- 天生カツラ街道の早期の全面開通を望む。河合橋の道標（天生峠以降の通行止め）を見て引き返す観光客が多い。
- 空家を壊しても税金が上がらないような方策をして欲しい。

### 神岡町 7月22・26・27日 6会場

- 道路の法面の木を切った方がいいのではないか。
- 水道料金の値上げ、国や県に要望し援助してもらえないか。
- バスの運転手が少なく、地区によってはマイクロバスでもいいのでは。

### 河合町 8月2・9日 4会場

- 国道沿線の草刈りについて、地域でできることはやっているつもり。しかし、高齢化などで出来る範囲も狭まっている。県でもう少し手を入れることできないのか。
- 国道471号、国道360号の山側電線路の伐採（野口～大無雁間）を実施して冬季の倒木による停電対策をして欲しい。

### 古川町 8月10・18日 4会場

- 不法投棄が多い。無線でゴミを捨てないように放送して欲しい。
- 人口減少問題の解決として、市、行政、議会で行い取り組んで欲しい。市職員は2～3年で異動するので専任者を配置し、若手ではなく50～60歳を採用して少なくとも5～10年専念してもらいたい。

## 市政に関する要望書提出

議会として調査してきた事案や市民との意見交換会など議会活動を通じて得られた意見について、総務・産業常任委員会で協議検討を重ね、次の6項目について10月25日、市に対して要望書を提出しました。

1. 防災行政無線の整備にかかる基本構想について
2. 行政区からの要望事項について
3. 国県施設等に対する市からの要望活動について
4. 児童生徒の安心安全な通学環境の整備について
5. 上町農産物直売所施設の適正な運営支援について
6. 鳥獣被害への継続した対策について



市長に要望書を手渡す澤議長、高原総務常任委員長、前川産業常任委員長

## 編集後記

「少子高齢化」当市に限らず、どの自治体でも抱える課題です。特に高齢化は、各組織、団体、サークルなどの後継者不足に直結してきます。そんな中、飛騨市文化協会に「文化少年部」が発足しました。スポーツにはスポーツ少年団があるのだから文化にも文化少年団があってもよいのではないかの発想のもと、4団体115名の子どもたちの登録につながりました。10月9日には発表会が開かれ、保育園児から高校生までが和太鼓、民踊、詩吟などを披露しました。こうして文化が継承されていくことに明るい希望を感じ、子どもたちの豊かな感性と前向きな姿勢にエールを送りたいと思います。

(住田 清美)